

なんぶのつとてい2019

さいがいじ ちいきれんけい ひつよう そな 災害時の地域連携と必要な備えについて

ひとり つつ
～一人ひとりがくらしを続けていくために～

しゅさい なんぶしょうがいしゃかいほう
主催：南部障害者解放センター

さくねん おおさかほくぶじしん たいふう ごうとう だいきほさいがい あいつ はっせい ことし はい きゅうしゅうちほう
昨年、大阪北部地震・台風21号等の大規模災害が相次いで発生しました。今年に入ってから九州地方での集中豪雨等自然災害が相次いで起こっています。

だいきほさいがい はっせい さい こじん さいがい の こ むすか きんりんじゅうみん かた じちかい ちょうないかいとう
大規模災害が発生した際には、個人で災害を乗り越えることは難しく、近隣住民の方や、自治会、町内会等
ちいき かたがた たちば こ れんけい の こ たいせつ
地域の方々と立場を超えて、連携して乗り越えていくことが大切であるといわれています。日ごろから、お互いの
かお み かんけい
「顔が見える関係づくり」をしていくことがさいがいじ れんけい うえ じゅうよう じっさい しゃきょうとうちいきだんたい
の関わりづくりに取り組まれている講師の方にお越し頂き、どのように進めていけばよいのかをかんがえていけばと
かんけい と く こうし かた こ いただ すす かんが
思います。また、災害時における障害者の生活の継続には、さまざまな課題があります。避難所で生活することも
おも さいがいじ しょうがいしゃ せいかつ けいぞく かいだい ひなんじょ せいかつ
考えられますが、1つの拠点に集まり、生活を継続していくこともかんがえます。その際に、どのような課題
かんが さい かいだい
があり、備えが必要かを皆さんとかんがえていければと思います。多数のご参加をお待ちしています。

にちじ ねん がつ にち きん じはん じ
日時：2019年11月15日（金）13時半～16時（受付開始 13時）

ばしょ さかい とう かい た もくてき
場所：サンスクエア堺 A棟3階 多目的ホール

はん わせん さかいしえきげしゃ と ほ
（JR阪和線 堺市駅下車 徒歩すぐ）

こうえん さいがいじ ちいきれんけい ひつよう そな
○講演：「災害時の地域連携と必要な備えについて」

こうし うちだ ひとみ じりつせいかつ む ちゅう ぼうさいたんとう
講師：内田 瞳さん（自立生活夢宙センター・防災担当）

なんぶしょうがいしゃかいほう ぼうさいとりくみほうこく
○南部障害者解放センターの防災取り組み報告

ちいきだんたい ぼうさいとく ほうこく いけんこうかん
○地域団体からの防災取り組み報告・意見交換

しりょうだい えん しゅわつうやく ようやくひっき
資料代 500円（手話通訳・要約筆記あり）

ほんきかく さかいししゃかいふくしきょうぎかい じよせいきん じよせい うんえい
本企画は、堺市社会福祉協議会より「ふれあい助成金」の助成により運営しています。

とひあひせ 072(238)6541 南部交流センター（月～金：10時～16時）

FAX:072-229-8159

★ご参加頂ける方は以下の申込書にご記入の上、FAX送信下さい。

○氏名：()

○所属団体：()

○参加人数：()名 うち 介護者 ()名

ご連絡先：TEL (- -)

★講師紹介

内田 瞳 (うちだ ひとみ)



1981年 兵庫県神戸市で生まれ、先天性骨形成不全症としてのびのび育つ。中学1年生の時に阪神・淡路大震災に遭い、神戸市東灘区の自宅で震度7を経験する。大学から大阪で一人暮らしを始め、現在は介助者と共に大阪市住之江区で自立生活を謳歌している。

特定非営利活動法人 自立生活夢宙センターの当事者スタッフとして9年目。センター内で防災担当をし、住之江の地域交流をすすめ、楽しみながらまちの防災力を高めていくことに力を入れている。

＜会場 サンスクエア堺 周辺地図＞



バスのりば「阪和堺市駅前」
JR堺市駅前駐車場
○駐車料金○
最初の1時間200円
以降30分毎に100円